



重点課題に対する意見の確認・共有・補足 ～全体会議～

今回の会議では、最初に、前回出された問題点と改善方法の全ての意見について全員で確認・共有を行い、補足の意見交換を行いました。

新たに出された意見は次のとおりです。



会場の様子

	問題点	改善方法
高齢者対策	「老人クラブ」の名称、イメージが悪い	・名称変更によるイメージアップ （「さわやかクラブ」等、市独自の名称をつける） ・活動の多様化（奉仕活動や創作活動等の推進）、入退会の柔軟化 ・青年会組織OB会との連携
労働環境対策	新規雇用創出の工夫	・工業団地に福祉関連施設を誘致することによる雇用創出 ・時代の趨勢を踏まえ、近隣市町との連携による雇用の創出
公共交通対策	高齢者にとってバスは使いづらい	・高齢者向けのタクシー利用補助への転換
商業対策	旧ジャスコ跡地問題	・アスベスト対策と建物の取り壊し（調査結果の公表等）
工業対策	企業誘致が進まない	・立地メリットの明確化（期間限定の優遇措置等）
農業対策	販路開拓の不足	・マーケティング（どこで、誰に、どのように売るか等）の工夫
	地産地消の伸び悩み	・市外での需要開拓が市内での需要創出に結びつくという逆転的発想も必要
	給食等への利用不足	・学校や福祉施設等の給食における地元産食材の利用促進
	環境保全型農業の取組み状況が市民に伝わっていない	・市民の理解・協力を得る情報発信が必要
	森林資源の活用・管理の不備・不足	・森林整備・維持管理への支援の強化（実態調査等）
医療・福祉対策	診療科目の不足・不備	・専門分科ばかりでなく総合診療体制の検討
積雪対策	除雪体制の不足・不備	・除雪機・人員の確保（老朽機材の整備、オペレーターとなる土木関連業者との連携）

市民等の役割及び期待等について ～グループ討議～

グループ討議では、重点課題の改善方法について、市民や事業者等でできることは何か、行政主導を推進すべきことは何かを話し合いました。検討にあたっては、最初に、委員の専門分野や関連内容に沿ってAからCの3つのテーマ（グループ）に分けて討議を行い、その後、他の2班の意見内容について、確認・共有・補足を行いました。

討議内容の結果はうら面のとおりです。

まちづくり会議全体のながれ

前半	第1回(9月)	新市誕生から5年間のまちづくりをふりかえって
	第2・3回(10月)	重点課題を改善する方法について
後半	第4・5回(12月)	後期基本計画への意見反映について

第3回会議のながれ

日時:平成23年10月26日(水)13:30～16:00

場所:五泉市福祉会館3階大会議室

13:30 開会挨拶

13:35 前回のふりかえり

9つの重点課題に対する意見内容の整理結果(説明)

13:50 意見交換

①前回の意見の確認・共有・補足(全体協議)

②市民等の役割及び期待について(グループ討議)

③他グループの意見内容の確認・共有・補足

16:00 まとめ、閉会

9つの重点課題のテーマ分類

A班

- ①高齢者が生きがいをもって暮らすことができるまち
- ②魅力ある労働環境を提供できるまち
- ③公共交通機関が利用しやすいまち



B班

- ④商業に活気のあるまち
- ⑤工業に活気のあるまち
- ⑥農業を育成するまち



C班

- ⑦安心して医療を受けることができるまち
- ⑧積雪にすばやく対応できるまち
- ⑨税金が効率的に使われているまち



重点課題	内 容	市民の役割	事業者の役割	行政の役割
① 高齢者対策	高齢者の社会参加のあり方	・町内会行事への積極参加 ・達人バンクへの登録推進 ・「お茶の間サロン」の自立		
	高齢者のボランティアのあり方	・ボランティア意識の向上・情報受発信	・ボランティア受入れ情報の発信 ・ボランティアの多様化（種類、勤務時間等）	・年齢や健康状態などに応じた人材活用 ・ボランティアの制度に関する情報の一元化 ・まちなか居住への支援
	高齢者の生活支援	・まちなか居住の推進		
②労働環境対策	雇用情報	・事業所の事業内容に対する関心の高揚	・事業内容の情報発信	
③ 公共交通対策	ふれあいバス	・利用の推進 ・利便性の口コミ		
	公共交通全体の利便性	・地域単位でのまとまった利用の推進（特に遠方の集落・地区）		・高齢者へのタクシー補助 ・ターゲットの絞り込み ・エコ通勤等のキャンペーンの実施（市職員の率先的取組み）
④ 商業対策	商店街に魅力・賑わい形成	・商店街の商品やイベントに対する意見や要望の提案	・まち中に人や車を導く交通ルートやイベントなどの楽しいしかけづくり ・「ま〜まぁカフェ」を拠点	・まち中に人や車を導く交通ルートやイベントなどの楽しいしかけづくり
	空き店舗の利活用		・消費者ニーズの把握	・高齢者や子どものための歩く環境づくり（村上や塩沢のように景観にも配慮）
	旧ジャスコ跡地問題	・旧ジャスコ跡地の利活用についての提案	・空き店舗で野菜や惣菜の直売	
	五泉をアピールする施設・整備			・市民の要望を踏まえた産業会館（農商工+福祉）の計画推進 ・道路拡幅による駐車スペースの確保（加茂市を参考に）
	駐車場		・空き店舗前面の空間利用	・町工場一体型への事業支援
⑤ 工業対策	事業支援	・五泉ニットの利活用の推進	・五泉ニットの地産地消の推進（ユニフォーム、ソックス、ネクタイ等）	
⑥ 農業対策	魅力向上		・地場産農産物のポイント制	
	地産地消	・地元産農産物の消費の推進	・市外（県外・国外）におけるブランド市場の開拓（地産外消）	
⑦ 医療・福祉対策	地域医療体制		・空き病室の有効利用	・症状別の医者マップの作成 ・助産師の配備 ・真心が感じられる文書の作成 ・人間ドッグ受診率の反映
	健診受診	・市民団体を通じた声かけ		・苦情に対する的確な説明
⑧積雪対策	除雪体制			・災害・除雪対応には経験者の確保
⑨ 税金対策	人事異動			・県の支え合い事業を利用してNPOに委託
	施設等の維持管理			
その他	自主防災・防犯体制	・町内会組織の改善（会長は2年以上継続）		・町内会への自主防災組織化の促進
	災害対策（避難所・弱者）	・町内会単位で弱者や避難経路の把握	・民間による弱者保護対応	・防災マップの作成

★あらゆる施策における市民参加の推進

★農業・商業・工業・福祉の連携

★観光・イベント情報を高齢者にわかりやすい手段で提供（防災無線等の活用）
★事業所による農業・商業・工業・福祉の連携に伴い市役所も「産業課」と統一

話し合いの結果から

長引く不況や財政難、投資余力の低下等により、多様な需要に応じた施策を行政主導で行っていくことには限界があります。市民や事業者、関係団体等が自主的・協働的に行える部分を担うことによって、効率的・効果的な施策展開が見込まれるとともに、各主体の自律を育み、絆を深めていくことも期待されます。

次回に向けて

これまでの議論の内容を整理し、並行して進めている後期基本計画の作成担当課に提示します。次回は後期基本計画（素案）において、提示した意見がどのように反映されたかを確認し、意見交換を行います。

次回の会議：12月中旬（予定）
五泉市福祉会館3階大会議室